

# リベラルアーツは どう人を 自由にするのか？



登壇者：小埜功貴 (ONO KOKI) さん

## 第1回「リベラルアーツとしての男性学」

リベラルアーツは「人を自由にする技」とされ、Science Tokyoでも広く共有されています。本連続講演では大学院生の研究や事例を通じて、人を「どう自由にするのか」を探ります。

第1回は、ジェンダー論・男性学を専門とする小埜功貴さんによる「男性学」に関する講演です。「非モテ」や「弱者男性論」、「生きづらさ」など男性ジェンダーにかかわる問題を扱う男性学の観点から、抑圧や解放、自由に関する最新の議論を紹介していただきます。ぜひご参加ください！

東京科学大学大学院 環境・社会理工学院  
博士後期課程 (D3) 在籍中。専門は社会学、  
ジェンダー論、男性学・男性性研究。  
メンズリブ (男性解放) 論をテーマに、  
メンズリブ運動やポップカルチャーを愛好  
する男性ファンについて研究を行っている。



対象

本学の学士課程学生 (その他大学院生、教職員、関心をお持ちの学外の方)

12/23 [MON]

17:20 ~ 19:00

対面+オンライン

(要申込み 〆切12/19)

申込みはこちら



<https://forms.gle/YwiSP8R4NDvrDYTA8>

会場

東京科学大学 大岡山キャンパス  
西9号館 コラボレーションルーム

(東急目黒線・大井町線 大岡山駅より徒歩5分)

